

○サウンディング結果の概要

対話の対象項目	対話概要
①事業のアイデアに関する提案、意見	<p>「大久野島 VC における飲食物の提供等の事業の内容」については、以下のような提案、意見がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客に向けた事前情報の提供を充実させる。 ・有人営業の原則化。 ・飲食店運営に「ウサギ」をテーマとする装飾やコンセプトを避け、施設全体の自然環境を重視した中立的な運営をする。 ・大久野島の既存店舗と異なる商品内容を提供することで、利用者の選択肢が増え、より魅力ある島になる。 ・環境に配慮した什器類の使用やごみを出来るだけ出さない方法が望ましい。洗い物を少なくするとごみは増える？ ・観光情報発信も兼ね備えた営業形態。 ・外国人に対応できるよう多言語表示は必須。 ・地産地消を生かした商品。(脱炭素の一環として、積極的に近隣地域の食材を活用したメニューを中心とすることが望ましい) ・季節に応じた限定メニュー。 ・食べやすさを重視した軽食やスナック。 ・多様性に配慮したメニュー。(ベジタリアンやヴィーガン等の食の多様性に一定対応することがより多くの顧客にとって魅力向上につながる) ・キーコンテンツを活かした商品。(ウサギを目的とした多くの来島者や小さな子供も含めた多様な利用ニーズに対応するため、キーコンテンツであるうさぎをテーマにした商品も必要。ただし、飲食提供等事業者自身が島内でのうさぎとの接し方のルールを正しく理解し、顧客への啓蒙を同時に行うことを条件とするのが望ましい。) ・SDGs や環境に配慮した工夫。 ・体験活動とのコラボレーション。 <p>「大久野島 VC の改修の内容に関する提案」については、以下のような提案、意見がありました。</p> <p><キッチンスペース></p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備面での自由度の確保。 ・キッチン周辺に屋根(壁に設置するタープ等を含む)を設置したい。 ・従業員手洗い器具の設置が必要。 ・熱源があり、窓等がオープンなため、空調は高い能力が必要。

- ・軽食の制限がないのであれば、油分を使用することを想定した設備が必要。排煙、グリストラップ設置。床面清掃のしやすさ、滑り止め。
- ・飲料だけでなく、軽食を扱うのであれば、チャンバー等の設置を想定した方が良い。
- ・電気容量は多めにして欲しい。単相 200V 等が必要。
- ・カフェカウンターの使いやすさや日除けが必要。
- ・エアコンの設置を大久野島 VC の設置者が行うか、飲食提供等事業者が行うか、明確にして欲しい。
- ・揚げ物の提供の可能性があるため、床が滑りやすくないよう、床材への配慮が必要。

<休憩所>

- ・空調の効き具合が心配（特に暖房時、暖気が上に上がり足元が寒いのではないか）。
- ・空調、照明等の各スイッチは飲食提供等事業者が使いやすい位置が望ましい。
- ・大久野島にボランティア活動を目的としてきている人たちに、情報共有ができ、話し合えるようなスペース（空間）があれば良い。
- ・床の材質が御影石調だと管理面（清掃）に不安が残る。又、鏡面仕上げ部分は雨等で濡れていると滑って危険。
- ・海から強風の際、落葉やごみが舞い込んできやすく管理面が不安。
- ・カフェ入口から休憩所までの動線はバリアフリーが良い。
- ・ワークショップスペース側から休憩所を上から覗かれている感があるので、ある程度は目隠ししておいた方が良い。
- ・壁面を利用できるよう目立たないフック、ピクチャーレール等があれば良い。
- ・椅子テーブルは、備え付けの備品であれば更新、修繕を考慮して選択する。
- ・カフェ利用客専用スペースが必要。入口に看板を立てる等の措置を行う。

<屋外デッキスペース>

- ・屋根雨水の処理量を想定し、落水場所を確認、又どう処理するのかわからない。特に、横長のデッキ部分は検討が必要。
- ・屋外デッキスペースは日差しや雨を避けられる構造が望ましい。

<その他>

	<ul style="list-style-type: none"> ・大久野島 VC と調和のとれたデザインの看板設置を飲食提供等事業者の負担で行いたい。大久野島 VC の設置者と調整の上、店舗のブランドイメージに合わせ、大久野島 VC の看板も含めたデザインを飲食提供等事業者で行いたい。 ・商品等の納入方法（車の乗り入れ方法、駐車場所）を明確にした方が良い。 ・全体的に照明は明るめの方が良い。 ・カフェで使用できる倉庫、物置が必要。 ・配送頻度を下げるときの収納スペースの確保。 ・チャンバー（冷蔵/冷凍）及び常温用屋外倉庫の導入。 ・従業員スペースの確保。 <p>「「1. 目的」を踏まえた提案（地域貢献、環境対策、管理運営の質の向上等）」については、以下のような提案がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食提供等事業者の公募時点で、飲食提供等事業者として、どのような協力をするのか具体的な提案を求めることが重要。
<p>②事業の対象範囲、事業期間等の諸条件に関する提案、意見</p>	<p><対象範囲></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッチンスペースの単独賃貸。休憩所は共有スペース化。 ・大久野島 VC の管理運営の質向上の観点からは、キッチンスペースだけではなく、休憩所、屋外デッキスペース、そして周辺エリアも含めた大久野島一体的な管理運営を行う意向を持っていることが望ましい。 <p><事業期間・営業時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時（船舶欠航時等）を除き、年間を通じた営業を基本とする。 ・営業時間はフレキシブルに設定したい。 ・賃貸期間の設定は、設備投資の回収を見据え、最低5年間を基本としてほしい。
<p>③事業化に向けた課題・不足しているインフラなどに関する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ関係の供給調整が必要。 ・大久野島に至る交通手段である船舶事業者との関係が重要。 ・ごみの回収方法（テイクアウトにおける島内のごみ回収、処理方法。最終処分）。 ・キッチンスペースの電気料金・水道料金の契約形態。 ・大久野島 VC 休館日にカフェ営業をする場合、大久野島 VC 館内の利用について検討が必要。 ・飲食提供等事業者、大久野島 VC の管理運営事業者、設置者の役

	割分担。
「④その他、事業実施にあたって行政に期待する支援や配慮してほしい事項」に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・既存構造物（例：壁や天井等）の加工について、迅速な相談機会や許可等、柔軟な対応をして欲しい。 ・公募時の評価方法を加点方式として欲しい。 ・大久野島 VC の設置者、管理運営事業者、飲食提供等事業者、その他ステークホルダー間の定期的な会合を開催して欲しい。 ・契約違反への厳格な対応。 ・島内既存事業者、大久野島 VC ・園地等の管理運営事業者、飲食提供等事業者 3 者の協力体制づくりが必要。 ・客船やフェリーでの運搬、食材運搬にかかる費用の補助などの配慮をいただくとありがたい。 ・飲食提供等事業者が健全に運営を行うことができるよう「イニシャルコスト軽減に資する国の補助金メニューの情報提供」や「自販機の設置、物販などの多角的な事業展開への柔軟な対応」が求められる。 ・飲食提供等事業者選定にあたっては、飲食事業内容のみを重視すると、大久野島全体の動きに対して当事者意識が薄れる懸念がある。環境、文化、生態系等多様な要素と関係者を持つ大久野島だからこそ、飲食の実績だけでなく、島内の関係性構築や、大久野島 VC の管理運営の質向上、大久野島の持続可能な発展に寄与する視座を持つ事業者または法人グループへの配慮があることが望ましい。